

# ワンタッチガスヒーター 上手な使い方と保管方法

ワンタッチガスヒーターは、ガス燃焼加熱方式を用いた製品です。専用ガスを充填し着火するだけで使用できますので、作業性と利便性が良いところが特長となっています。しかし、製品の特性上、取扱上の注意が多い製品でもあります。ワンタッチガスヒーターを適切にご使用いただく為に、上手な使い方と保管方法をご案内しますので、下記の点に注意しご使用ください。

## ガスは、必ず純正品を使用しましょう。

純正ガスは、燃焼に最適なガス濃度になっています。純正品以外のガスを使用すると、着火しない場合や不完全燃焼などの原因により故障しますのでご注意ください。

## 着火時は、ガス調整ツマミを「大」にひねってから着火しましょう。

ガス調整ツマミを「大」にひねっておくことで、着火しやすく着火時の確認も容易になります。

## 着火スイッチは、連続して押さないようにしましょう。

着火する際、着火スイッチをカチ・カチ・カチと連続して押さないようにしてください。連続して押すとスパークの電圧が下がりが着火しづらくなります。また、一度で着火しない場合、3～5秒程度おいてから、再度着火スイッチを押してください。

## 低温時は、着火しづらい場合があります。

冬場や低温下で製品を保管したり使用すると、空気の冷えとスパーク電圧の低下に伴い、着火しづらくなります。また充填するガス(GP-20)も圧力が低下し充填しづらくなります。ワンタッチガスヒーターは、常温下(20℃前後)での使用をお勧め致します。

## 燃焼させた状態で放置しない。

補修作業中ずっと燃焼させておくと、溶かしたワックスが焦げ、ススや油分を含んだ煙が通気口から本体内部へ侵入し、部品に固着することで故障します。ワックスを溶解した後はすぐに消火してください。また、コテ先は常に綺麗にしておきましょう。

## ガスは、定期的に補充しましょう。

ガス量が少なくなると着火しづらくなる場合があります。ガスは定期的に補充してください。

## 使用後は、収納ケースに保管する。

ワンタッチガスヒーターは、チリやホコリを嫌い衝撃が加わると故障する場合があります。工具箱などに、そのまま入れて保管するのではなく、シリコンコテホルダー(SI-H)などに収納し保管してください。

## フィルターは定期的に交換する。

ススや油分を含んだ煙、チリやホコリの侵入を防ぐ為、本体の通気口部にフィルターが装着されています。フィルターは定期的に交換してください。

## 調子が悪くなってきたら、早めに修理を依頼する。

調子が悪くなったら使用を止め、修理依頼をおこないましょう。※修理依頼書をご請求ください。

## ワイドタイプは、クリアワックス以外の溶解には使用しない。

ワイドタイプは、クリアワックス専用のこて先です。クリア系ワックス以外のワックスを溶解すると、ワックス内の顔料が分離または変色する恐れがありますのでご注意ください。



純正ガス以外を使用すると故障します。



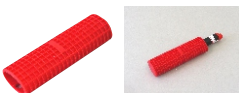
作業中、燃焼させたまま煙が出るような状態で放置していませんか？



着火時に、着火スイッチを何度も押していませんか？



長時間使用すると、フィルターがこんなにも汚れます。早めの交換をお勧めします。



<対応製品>  
・BE-200、-L ・BE-300-20、-40  
・GH100-R、-L、-S、-20、-40  
使用後は収納ケースに入れて、大切に保管しましょう。

## 大切にお使いいただく為のお願い

### 補充用ガスは純正品をお使いください

ワンタッチガスヒーターに、非純正ガスを充填し使用すると故障します。充填するガスは、必ず純正ガスの「GP-20」をご使用いただきますようお願い致します。

尚、取扱説明書に記載の通り、非純正ガスの使用に伴う故障は保証及び修理対象外となりますので、十分にご注意ください。

### 非純正ガスを使用すると故障します